

CATV 技術者資格テキスト(CATV の基礎)

(初版第 3 刷) 修正内容リスト

(初版第 2 刷からの修正内容)

2024. 5.31 時点

ページ 番号	行、項、図、表	初版	初版第 2 刷
VI	2.4.2項	変調方式	変調方式 <u>など</u>
VIII	3.3.3項(1)	電力表示 [dBm]	電力表示 <u>P</u> [dBm]
8	1.3.2(1)項5行目	周期数	周波数
8	1.3.2(2)項2行目	周期数	周波数
33	11行目	復号して番組として	復号して <u>それぞれの番組の情報</u> として
35	2.3.3項1行目	秘話性	秘 <u>匿</u> 性
37	2.4.2項見出し	変調方式	変調方式 <u>など</u>
42	3行目	マスタ鍵	マスタ <u>一</u> 鍵
44	図2.20図内	(令和 <u>5</u> 年4月1日現在)	(令和 <u>6</u> 年4月1日現在)
44	下から1行目	<u>1.3.3項で説明したように12GHz帯</u> (11.71~12.75MHz帯)の周波数を用いて	<u>12GHz帯(11.71~12.75GHz帯)の周波数</u> を用いて1.3.3項で説明したように
45	(b)3行目	1GHz帯	1~3GHz帯
47	下から3~2行目	<u>デコーダ</u>	<u>エンコーダ</u>
51	最下行以降に追加	—	また、制御信号や伝送する信号に関する情報など受信機が安定受信するうえで重要な情報については、雑音の影響に強いQPSKなどで伝送することも可能である。
52	図2.26下7行目	(図2.27マルチパスD)	(図2.27における <u>マルチパスDの場合</u>)
52	(2)2行目	最大約23Mbps	1チャンネルあたり最大約23Mbps
57	(1)2行目	電波と同じ信号形式(・・・)で伝送	電波と同じ信号形式 <u>で</u> (・・・)伝送
57	(b)1行目	周波数	周波数 <u>帯</u>
58	(2)4行目	伝送路符号化	伝送路符号
58	(2)5行目	伝送路符号化 <u>で</u>	伝送路符号化を <u>行い</u>
60	②1行目	2チャンネル分	2チャンネル分の <u>周波数帯域</u>
61	(1)5行目	<u>6MHz帯域チャンネル</u>	<u>帯域幅6MHzのチャンネル</u>
63	(1)3行目	最終改正 平成31年1月22日総務省令第3号	(削除)
63	脚注*12	受信者端子：有線一般放送の品質に関する技術基準を定める省令で以下のように定義されている。 「受信者端子」とは、有線放送設備の端子であって、有線テレビジョン放送等の受信設備に接するものをいい、一般的にはテレビ受信機やSTBの入力端子に接続されるテレビ端子などがこれにあたる。	受信者端子：有線一般放送の品質に関する技術基準を定める省令で以下のように定義されており、一般的にはテレビ受信機やSTBの入力端子に接続されるテレビ端子などがこれにあたる。 「受信者端子」とは、有線放送設備の端子であって、有線テレビジョン放送等の受信設備に接するものをいう。
64	(2)1行目	CATVシステム	現在使用されている <u>多くのCATVシステム</u>
66	表2.15OFDMの搬送波の周波数	<u>+1/7MHz</u> ※上野線削除	以上の周波数に1/7MHzを加えたもの
68	4行目	ACASを使用する。	ACASを使用する。 <u>なおACASはB-CAS機能を包含している。</u>
68	下から4行目	<u>64QAMあるいは256QAM</u>	(削除)
70	[4K8K対応]4行目	<u>4Kのフレームレート120pに</u>	<u>4K(フレームレート120p)</u>
70	[HDCP2.2]3行目	暗号 <u>方式</u>	暗号 <u>鍵</u>
70	(c)1~2行目	<u>ステレオ(2チャンネル)の音声信号を1本のケーブル</u>	音声信号を1本の <u>光</u> ケーブル

71	3行目	全世界で約200企業	多くの賛同企業
74	参図2-1	シングルキャリア方式 マルチキャリア方式	シングルキャリア方式 マルチキャリア方式
81	②1行目	光ノードを下り用	光ノードを結ぶ下り用
81	④2行目	電力はこの	電力は電源供給器より
81	⑤2行目	電気信号を光ノード側に届けるための	(削除)
81	⑦1行目	保安器はCATVシステムと加入者宅との境界点（責任分界点）とされることが多く、	(削除)
82	⑧1行目	必要する能動機器	必要とする能動機器
84	【計算例(3.1)】1行目	10dB	10dB/km
86	(4)10行目	一定の間隔で	線路上に一定の間隔で
87	(1)見出し	電力表示 [dBm]	電力表示 P [dBm]
88	【計算例(3.5)】1行目	電力レベル	電力レベル P (dBm)
89	3.4.2項6～7行目	もう少し分岐線を延長できればその付近一帯の加入者を満足させることができる場合	分岐線を延長したい場合、加入者信号レベルの不足を補うため
98	2行目	順次小さい分岐器	順次結合損失の小さい分岐器
98	(b)1行目に追加	—	タップオフの分岐・分配器出力の電圧強度を「タップオフレベル」という。
99	(5)1行目	CATVシステム用	双方向CATVシステム
100	(6)1行目	通常テ	通常はテ
100	3.4.5項(1)1行目	電波だけを通過させる機能や、不要な周波数の電波を	電波や電流だけを通過させる機能や、不要な周波数の電波や電流を
103	式(3.6)	雑音指数(C/N) 入力信号 C/N_i 出力信号 C/N_o	雑音指数(NF) 入力信号 $(C/N)_i$ 出力信号 $(C/N)_o$
103	式(3.7)、図3.36	$\frac{C/N_i}{C/N_o}$	$\frac{(C/N)_i}{(C/N)_o}$
103	式(3.8)	C/N_o	$(C/N)_o$
104	【計算例(3.6)】3行目	2.3dB	2.3dB μ V
106	⑤2行目	AGC機能	AGC（自動利得制御）機能
106	3.5.3項8行目	放送波や無線の飛込み、家庭内の電気製品より発生する雑音が	放送波や各電磁波の飛込み、家庭内の電気製品より発生する電磁波が
107	3.6.1項1行目	増加にともない悪化する。	増加にともない信号に含まれる雑音量が増加し悪化する。
225	図6.44(a)	—	【別図表】図6.44(a)変更版へ差し替え
251	図7.14	—	【別図表】図7.14変更版へ差し替え
257	4行目	Twitter	X(Twitter)
263	最下行	次回CMの送信時	CMの次回送信時
267	下から4行目および2行目	電気を必要	電源を必要
283	下から7行目	およぼさない	及ぼさない
284	表7.5表題	電気通信事業法等に関わる規定	電気通信事業法等における安全・信頼性の規定
306	7行目	同一構内とみなし、	一の構内とみなし、
306	8.6.5項①3行目	小規模なマンションの共同受信施設など。	(削除)

- ・アンダーライン箇所は変更点を示します。

【別図表】

図 6.44(a)変更版

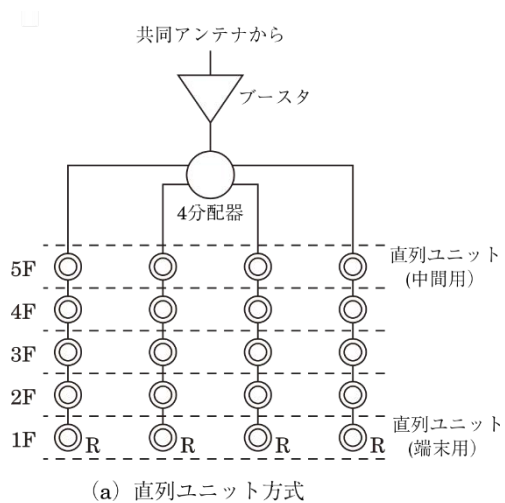
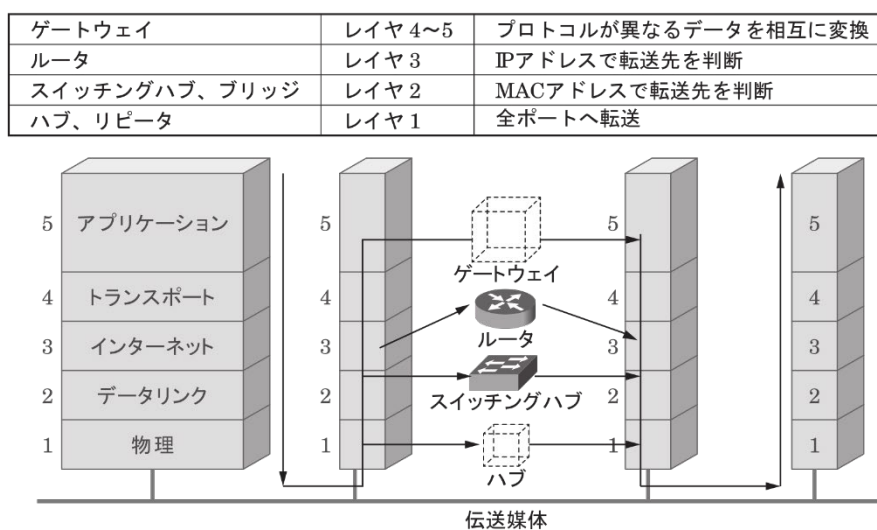


図 7.14 変更版



以上